

# 2023年度 第3四半期決算説明資料

対象期間：2023.4.1-12.31

2024年2月8日

## 2023年度 第3四半期 連結決算のハイライト

(億円)	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	23年度		23年度 通期計画 (11月修正)
			前年同期比	通期計画 進捗率	
売上高	7,980	8,330	+4.4% +349	75.8%	10,985
営業利益	647	697	+7.7% +49	87.1%	800
営業利益率	8.1%	8.4%	+0.3pt	—	7.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	472	449	△4.9% △23	88.1%	510
E P S	168.12円	161.13円	△6.99円	—	182.89円

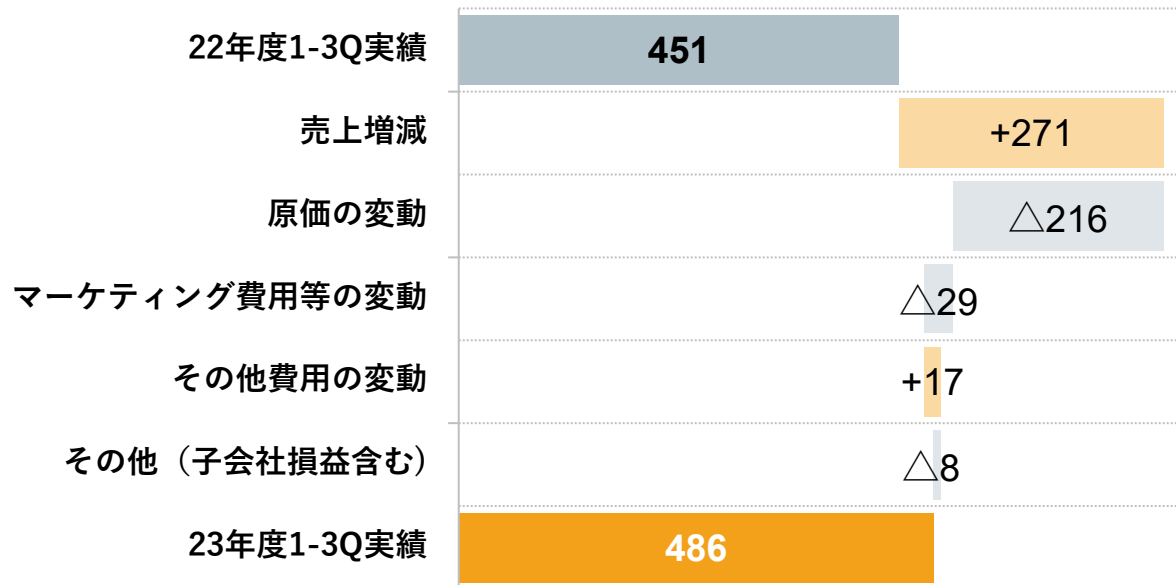
- 3Q累計実績：増収増益

- ・ 食品、医薬品ともに増収増益
- ・ 四半期純利益は減益。税金費用の増加が主な要因

## 食品：2023年度 第3四半期 決算概要

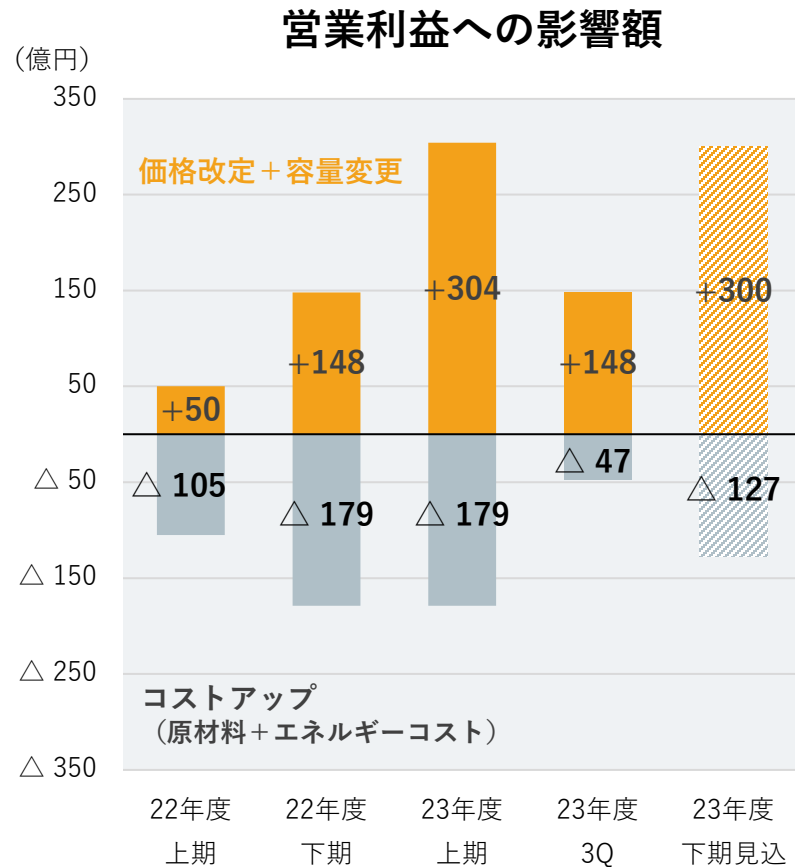
(億円)	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	前年同期比	通期計画 進捗率	23年度 通期計画 (11月修正)
売上高	6,499	6,794	+4.5% +295	76.3%	8,911
営業利益	451	486	+7.8% +35	79.8%	610

## 営業利益 増減分析



- ： 価格改定効果+441  
数量やプロダクトミックスの変動など△170
- ： 原材料コスト増△227（国内生乳、海外乳原料など）  
容量変更などによる原価低減+11
- ： 宣伝費や物流費の増加
- ： エネルギーコストの負担減を含む製造間接費の減少
- ： 中国子会社が減益、米国子会社は増益  
国内は飼糧子会社が減益、販売子会社は増益

# 食品：コストアップへの対応



- 引き続き、価格改定効果等によりコストアップを吸収
- コストアップは下期見込みを下回って推移
- 付加価値訴求で改定価格は定着、数量は回復傾向も一部に課題

## 23年度の主な価格改定

23年3月	アイスクリーム	+4-9%
4月	チョコレート・グミ	+5-10%
	ヨーグルト	+4-6%
	プロバイオティクス	+4%
	チーズ	+6-13%
	ザバス (粉末)	+4-5%
	ザバスマルク	+2-7%
5月	粉ミルク	+約8%
	市販流動食	+4-9%
6月	チョコレート・グミ (一部)	+8%
8月	ヨーグルト	+1-3%
	牛乳	+4-11%
10月	チョコレート・グミ	+4-24%
12月	クリーム	+約4%
	バター	+約7%

# 食品：2023年度 第3四半期 事業別営業利益 増減分析

(億円)	食品全体	ヨーグルト・チーズ	ニュートリション	チョコレート・ゲミ	牛乳	業務用食品	フーズン・調理食品	海外	その他・国内子会社
22年度1-3Q営業利益	451	169	128	88	△17	22	31	△2	30
売上増減	+271	+49	+66	+27	+35	+64	+31	+3	△4
原価の変動	△216	△39	△46	△28	△37	△35	△20	△5	△6
経費等の増減	△12	+2	△3	△0	+1	△10	△6	△4	+10
マーケティング費用等 の変動	△29	△6	△3	△6	△3	△3	△8	△5	+5
その他費用の変動 (内、研究開発費)	+17 (△3)	+8	△1	+6	+3	△7	+1	+1	+5
その他 (子会社損益など)	△8	+5	△0	△1	+5	△0	+0	△13	△5
23年度1-3Q営業利益	486	186	145	86	△13	40	36	△21	25

# 食品：2023年度 第3四半期 主な事業概況

## ■ ヨーグルト・チーズ事業

(億円)

	23年度 1-3Q実績	前年同期比
売上高	1,533	+1.2% +18
営業利益	186	+10.1% +17

### ● 市場 (1-3Q)

- ヨーグルト：+4~5%    チーズ   ：+2~3%

### ● 売上高

- プロバイオティクスは価格改定効果や10月より市販向けに販売を開始した「R-1 the GOLD」が増収に寄与
- ヨーグルトはブルガリアのドリンクタイプ大容量（900g）の終売が減収に影響
- チーズはスライスが好調、カマンベールも回復トレンド

### ● 営業利益

- 価格改定効果で原材料コスト増と数量減影響を吸収し増益



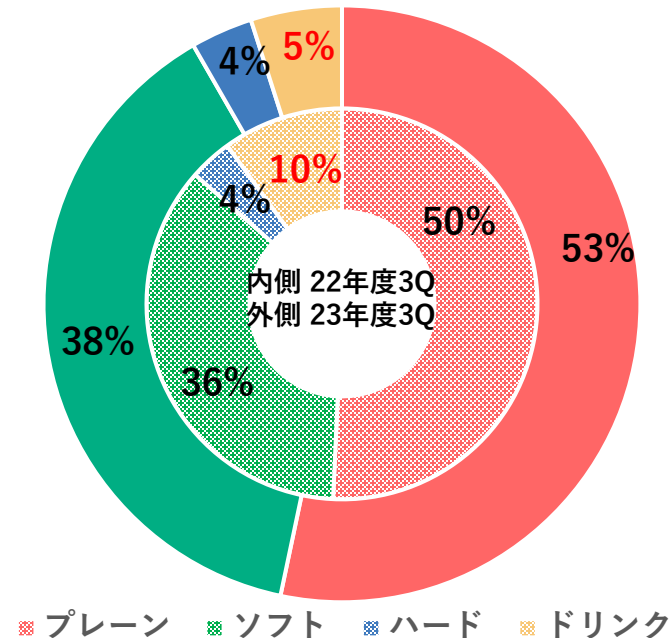
### 23年度1-3Q売上高 前年同期比実績

プロバイオティクス	+1.5%
ヨーグルト	△1.8%
チーズ	+3.4%



『ブルガリアLB81プレーン400g』  
+1.9%

### ブルガリアヨーグルト タイプ別売上構成比



# 食品：2023年度 第3四半期 主な事業概況

## ■ ニュートリション事業

(億円)	23年度 1-3Q実績	前年同期比
売上高	976	+7.7% +69
営業利益	145	+13.1% +16

### ● 市場（1-3Q）

- スポーツプロテイン（粉末・顆粒）：+15～16%
- 流動食：病院・在宅ともに継続して伸長

### ● 売上高

- 「ザバス」シリーズは粉末・ドリンクともに伸長
- 乳児用ミルクはインバウンド需要に加え、10月リニューアルのキューブタイプが好調

### ● 営業利益

- 価格改定効果で原材料コスト増を吸収、数量減によるマイナス影響も回復傾向にあり大幅増益

## ■ チョコレート・グミ事業

(億円)	23年度 1-3Q実績	前年同期比
売上高	759	+1.0% +7
営業利益	86	△2.2% △1

### ● 市場（1-3Q）

- チョコレート：+3～4% グミ：+24～25%

### ● 売上高

- 機能性を追加した「チョコレート効果Wプラス」やナッツチョコが好調。インバウンド需要も後押し
- グミは市場の伸びには届かず。主力品は好調を維持

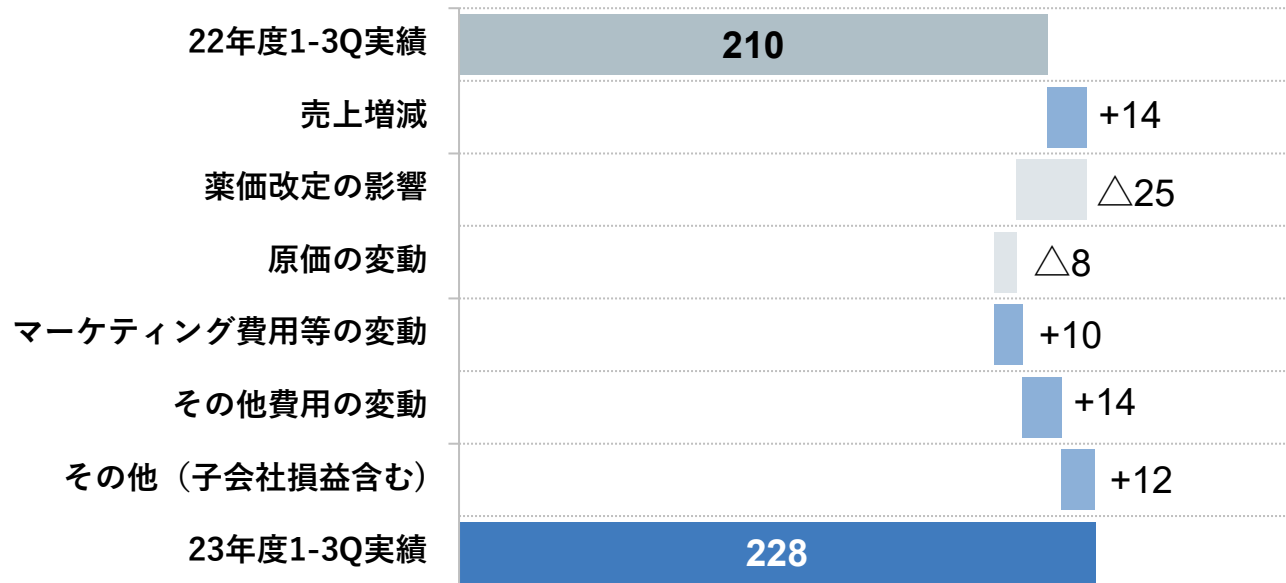
### ● 営業利益

- 価格改定効果で原材料コスト増と数量減をカバーするも、広告宣伝費の増加もあり減益

# 医薬品：2023年度 第3四半期 決算概要

(億円)	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	前年同期比	通期計画 進捗率	23年度 通期計画 (11月修正)
売上高	1,487	1,540	+3.6% +53	74.0%	2,081
営業利益	210	228	+8.4% +17	103.6%	220

## 営業利益 増減分析



： 抗菌薬の需要増に伴う国内医薬品の増収、COVID-19ワクチンに関する受託収入は減少

： 原材料コスト増

： 営業効率化による費用減

： 研究開発費は増加したが、工場子会社化影響（製造間接費から仕入原価へ）で費用減

： 国内は製造子会社が増益、GE販売子会社が減益  
海外はタイやスペイン、インドの子会社が増益



# 医薬品：2023年度 第3四半期 事業別営業利益 増減分析

(億円)	医薬品 全体	国内医薬品	海外医薬品	ヒト用 ワクチン	動物薬
22年度1-3Q営業利益	210	93	62	42	11
売上増減	+14	+17	△3	+1	—
薬価改定の影響	△25	△25	—	—	—
原価の変動	△8	△3	△6	△0	—
経費等の増減	+24	+19	△2	+6	—
マーケティング費用等の変動	+10	+8	△0	+2	—
その他費用の変動 (内、研究開発費)	+14 (△18)	+11	△1	+5	—
その他 (子会社損益など)	+12	△13	+18	+9	△1
23年度1-3Q営業利益	228	89	70	58	9

## 2023年度 通期連結見通し：修正なし

(億円)	22年度 通期実績	23年度	
		通期計画 (11月修正)	前期比
売上高	10,621	10,985	+3.4% +363
営業利益	754	800	+6.1% +46
営業利益率	7.1%	7.3%	+0.2 pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	694	510	△26.5% △184
EPS	247.39円	182.89円	△64.5円
1株当たり配当金	90円	95円	+5円
配当性向	36.4%	51.9%	+15.6 pt
ROE	10.0%	7.0%	△3.1 pt
ROIC	6.3%	6.5%	+0.2 pt
設備投資額	721	649	△10.0% △72
営業CF	850	585	△31.2% △265
フリーCF	482	40	△91.7% △442

# 参考資料

## 2023年度 第3四半期 連結経営成績

(億円)	23年度 1-3Q実績	前年同期比	主な内容
売上高	8,330	+4.4% +349	— (詳細はP1-2, P7参照)
営業利益	697	+7.7% +49	— (詳細はP1-2, P7参照)
営業外収益	28	△32.7% △13	・持分法による投資利益 (△7) ・為替差益 (△3)
営業外費用	42	+66.0% +16	・持分法による投資損失 (+17)
経常利益	683	+2.9% +19	—
特別利益	105	+19.7% +17	・投資有価証券売却益 (+32) ・固定資産売却益 (△19)
特別損失	48	△22.0% △13	・事業構造改善費用 (△30)
税金等調整前 当期純利益	740	+7.3% +50	—
法人税等	256	+31.8% +61	—
非支配株主に 帰属する四半期純利益	34	+51.9% +11	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	449	△4.9% △23	—

## 2023年度 第3四半期 連結財政状態

(億円)	23年12月末 実績	前期末比	主な内容
流動資産	5,589	+18.7% +880	・受取手形及び売掛金 (+492) ・現金及び預金 (+287)
固定資産	6,769	+1.8% +116	・建物及び構築物(純額) (+157) ・土地 (+73) ・投資有価証券 (+62) ・建設仮勘定 (△158)
資産合計	12,359	+8.8% +997	—
流動負債	3,247	+22.0% +584	・コマーシャル・ペーパー (+200) ・支払手形及び買掛金 (+122) ・短期借入金 (+98) ・返金負債 (+34)
固定負債	1,177	△0.7% △8	・長期借入金 (△30) ・退職給付に係る負債 (+11)
負債合計	4,424	+15.0% +575	—
株主資本	6,846	+2.9% +194	・利益剰余金 (+183)
その他の包括利益 累計額	667	+42.7% +199	・為替換算調整勘定 (+150) ・その他有価証券評価差額金 (+47)
非支配株主持分	421	+7.0% +27	—
純資産合計	7,934	+5.6% +421	—
有利子負債	811	+26.1% +168	・コマーシャル・ペーパー (+200) ・短期借入金 (+98)
自己資本比率	60.8%	△1.9pt	—

## 2023年度 第3四半期 連結キャッシュフロー

(億円)	23年度		
	1-3Q実績	前年同期比	主な内容
営業キャッシュフロー	645	+278	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棚卸資産の増減額 (+133)</li> <li>・法人税等の支払額 (+124)</li> </ul>
投資キャッシュフロー	△294	+123	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有形固定資産の取得による支出 (+113)</li> </ul>
フリーキャッシュフロー	351	+402	—

## 2023年度 第3四半期 連結営業利益増減分析

(億円)	連結	食品	医薬品	他
22年度1-3Q実績	647	451	210	△14
売上増減	+285 *1	+271	+14	—
薬価改定の影響	△25	—	△25	—
原価の変動	△224 *2	△216	△8	—
経費等の増減	+12 *3	△12	+24	—
その他（子会社損益含む）	+1	△8	+12	△3
23年度1-3Q実績	697	486	228	△17

\*1： 価格改定効果を含む

\*2： 主な内訳 【食品】 原材料コスト増（国内生乳、海外乳原料など）△227、その他（容量変更など）+11  
【医薬品】 原材料コスト増△8

\*3： 主な内訳 【食品】 マーケティング費用等の変動△29、その他経費の変動+17  
【医薬品】 マーケティング費用等の変動+10、その他経費の変動+14

## 食品：事業別売上高・営業利益

		(億円)					
		22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	前年 同期比	通期計画 進捗率	23年度 通期計画 (11月修正)	前期比
ヨーグルト ・チーズ	売上高	1,515	1,533	+1.2% +18	74.9%	2,047	+1.1% +21
	営業利益	169	186	+10.1% +17	71.8%	259	+7.6% +18
ニュートリション	売上高	906	976	+7.7% +69	78.0%	1,251	+7.1% +82
	営業利益	128	145	+13.1% +16	75.3%	192	+31.8% +46
チョコレート ・グミ	売上高	752	759	+1.0% +7	72.3%	1,051	+2.2% +22
	営業利益	88	86	△2.2% △1	64.6%	133	+19.3% +21
牛乳	売上高	546	571	+4.7% +25	76.0%	752	+5.2% +37
	営業利益	△17	△13	— +3	—	△23	— +1
業務用食品	売上高	532	600	+12.7% +67	75.7%	793	+11.5% +81
	営業利益	22	40	+85.3% +18	70.8%	57	+87.2% +26



## 食品：事業別売上高・営業利益

(億円)		22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	23年度		23年度 通期計画 (11月修正)	前期比
				前年 同期比	通期計画 進捗率		
フローズン ・調理食品	売上高	456	483	+6.0% +27	79.8%	606	+4.6% +26
	営業利益	31	36	+15.9% +5	94.4%	38	+19.1% +6
海外	売上高	499	560	+12.3% +61	71.7%	782	+14.1% +96
	営業利益	△2	△21	— △18	—	△41	— △31
その他 ・国内子会社	売上高	1,290	1,308	+1.4% +18	80.4%	1,626	△6.6% △114
	営業利益	30	25	△15.9% △4	—	△7	— △38

## 食品：2023年度 主力品の売上動向

(億円)	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績			23年度 通期計画 (11月修正)	前期比
			前年 同期比	通期計画 進捗率		
ヨーグルト	580	570	△1.8%	74.9%	761	+0.0%
プロバイオティクス ヨーグルト	702	712	+1.5%	73.2%	973	+2.0%
市販チーズ	213	220	+3.4%	77.0%	286	+1.5%
チョコレート	713	740	+3.8%	71.4%	1,036	+4.5%
乳幼児ミルク・流動食	517	543	+5.1%	77.0%	705	+4.8%
スポーツ栄養 (ザバスミルク含む)	356	395	+11.0%	79.7%	496	+9.8%
市販・宅配牛乳	551	574	+4.1%	77.5%	740	+2.4%
市販アイスクリーム	337	373	+10.6%	82.7%	451	+8.4%

※収益認識基準は適用していません

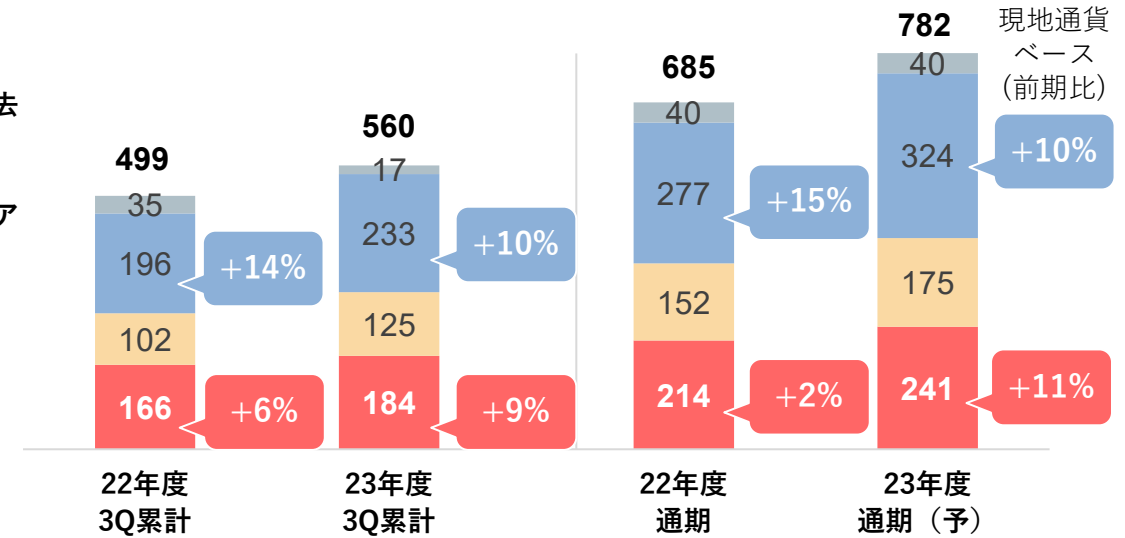
# 食品：2023年度 第3四半期 主な事業概況

## ■ 海外事業

(億円)	23年度 1-3Q実績	前年同期比
売上高	560	+12.3% +61
営業利益	△21	- △18

■ 輸出・消去  
■ 欧米  
■ 東南アジア  
■ 中国

地域別売上高（億円）



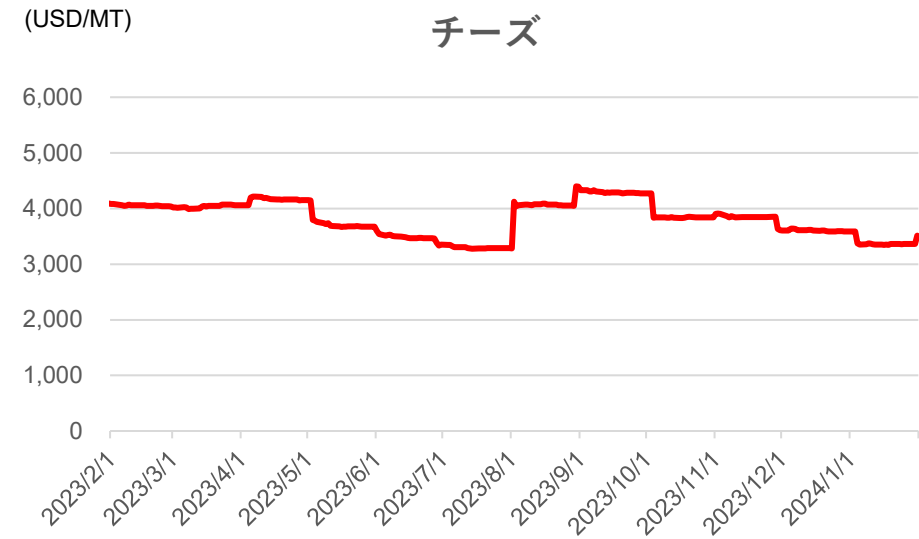
### ● 中国

- 市販牛乳・ヨーグルトは苦戦。華北エリアの新規開拓と新商品の売上拡大に取り組む
- 業務用は新規顧客獲得と既存カフェチェーンの取引拡大で好調続く
- 菓子は主力の板チョコに加えて新商品も好調に推移
- アイスクリームは3Qにおける天候不順の影響を受け前年割れ

### ● 米国

- 明治ブランド品のチョコスナックが大幅に伸長
- 価格改定やSKU数の見直しなど、収益性改善も着実に進む

# 主要輸入原料相場の動向



## 医薬品：事業別売上高・営業利益

		(億円)					
		22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	前年 同期比	通期計画 進捗率	23年度 通期計画 (11月修正)	前期比
国内医薬品	売上高	735	782	+6.4% +47	75.0%	1,043	+4.1% +41
	営業利益	93	89	△4.1% △3	107.9%	83	△18.0% △18
海外医薬品	売上高	389	404	+3.8% +14	73.2%	552	+7.4% +38
	営業利益	62	70	+12.0% +7	101.4%	69	△9.7% △7
ヒト用ワクチン	売上高	281	274	△2.5% △7	72.5%	378	+8.8% +30
	営業利益	42	58	+37.2% +15	103.0%	56	+131.0% +32
動物薬	売上高	80	79	△1.5% △1	74.5%	106	△1.7% △1
	営業利益	11	9	△16.7% △1	88.7%	10	△25.2% △3

# 医薬品：2023年度 第3四半期 主な事業別概況

## ■ 国内医薬品事業

(億円)	23年度 1-3Q実績	前年同期比
売上高	782	+6.4% +47
営業利益	89	△4.1% △3

### ● 売上高

- 前期のCOVID-19ワクチンに関する受託収入の反動を受けるも、「メイアクト」「スルバシリン」などの抗菌薬が大幅に伸長

### ● 営業利益

- 受託収入の減少や薬価改定の影響に加え、研究開発費の増加などにより減益

## ■ ヒト用ワクチン事業

(億円)	23年度 1-3Q実績	前年同期比
売上高	274	△2.5% △7
営業利益	58	+37.2% +15

### ● 売上高

- インフルエンザワクチンやB型肝炎ワクチンの減収

### ● 営業利益

- 生産効率化やロイヤリティ収入により大幅増益

# 医薬品：開発パイプラインー1

	開発コード（一般名）	薬効/作用	予定適応症	開発段階
感染 領域	OP0595* (ナキュバクタム)	$\beta$ -ラクタマーゼ阻害薬	カルバペネム系抗菌薬に耐性を示す菌株による各種感染症	Phase III（日本・海外）**
新 領 域	ME3208 (ベルモスジル)	ROCK2阻害剤	慢性移植片対宿主病(cGVHD)治療薬（ROCK 2 阻害剤）	申請（日本・韓国・台湾）
	DMB-3115	バイオ後続品	尋常性乾癬/関節症性乾癬/クローン病 /潰瘍性大腸炎	申請（海外） Phase I（日本）
	HBI-8000 (ツシジノスタット)	ヒストン脱アセチル化酵素（HDAC）阻害剤	切除不能または転移性悪性黒色腫治療薬	Phase III（日本・海外）**
	ME3183*	PDE4阻害剤	乾癬治療薬	Phase II（海外）
	HBI-8000 (ツシジノスタット)	ヒストン脱アセチル化酵素（HDAC）阻害剤	再発・難治性B細胞性非ホジキンリンパ腫治療薬	Phase Ib / II（日本）**
ワ ク チ ン	KD-370	ワクチン	百日せき菌、ジフテリア菌、破傷風菌、ポリオウイルス、ヘモフィルスインフルエンザ菌b型による感染症の予防	承認（日本）
	ARCT-154	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（レプリコンワクチン）	承認（日本）
	ARCT-2301	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（2価レプリコンワクチン：起源株/オミクロン株）	Phase III（日本）

\*自社創製  
\*\*国際共同治験

# 医薬品：開発パイプラインー2

	開発コード（一般名）	薬効/作用	予定適応症	開発段階
ワクチン	KD-414	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（成人・不活化ワクチン）	Phase III（18～40歳）**（日本）
	KD-414	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（小児・不活化ワクチン）	Phase III（6か月～11歳）（日本）
	KD-414	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（小児・不活化ワクチン：オミクロン株）	Phase III（6か月～12歳）（日本）
	KD2-396	ワクチン	百日せき菌、ジフテリア菌、破傷風菌、ポリオウイルス、ヘモフィルスインフルエンザ菌b型、B型肝炎ウイルスによる感染症の予防	Phase II（日本）
	KD-382	ワクチン	デング熱の予防	Phase I（海外）

\*自社創製

\*\*国際共同治験



# 医薬品：開発パイプラインー3

	開発コード	薬効/作用	開発段階
動物用医薬品	ME4137	抗菌性注射剤（牛）	申請（日本）
	ME4137	抗菌性注射剤（豚）	申請（日本）
	KD-412*	ワクチン（牛）	申請（日本）
	MD-22-3002	抗炎症剤（牛、豚、馬）	申請（日本）
	ME4305*	抗菌性製剤（牛）	開発中
	MD-22-1001-1	抗菌性注射剤（牛）	開発中
	ME4406*	飼料添加物	開発中

\*自社創製

# 健康にアイデアを meiji

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料には、薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。